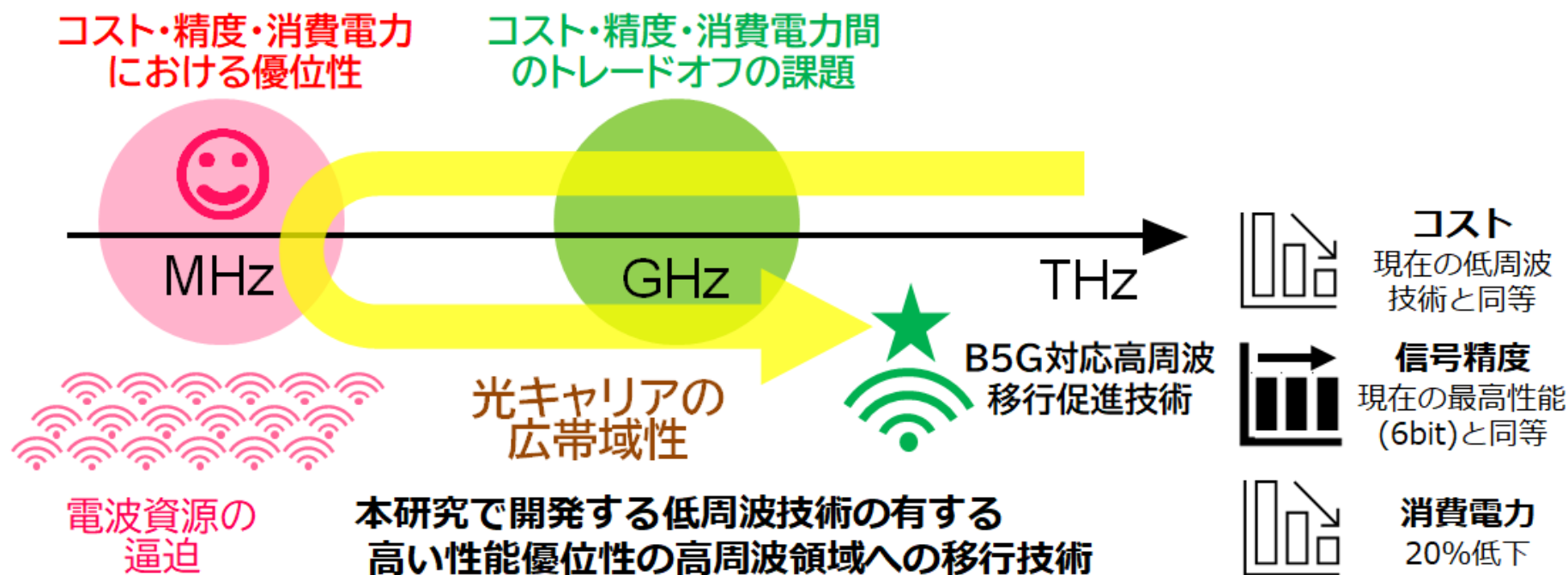


# 低コスト・高品質なミリ波・テラヘルツ帯への B5G対応高周波数移行技術の研究開発

**研究概要**：本研究開発は、日本が優位性を持つ**光技術の広帯域特性を活かしたB5G対応高周波移行促進技術の実現**を目指している。高周波数帯における**コスト・精度・消費電力の課題**を解決する技術基盤を確立し、**2028年ころには通信装置への一部技術の展開開始**を目指している。具体的には、2027年には30GHz帯において低コスト性を維持した**高周波技術の最高性能と同等の信号精度と、20%の消費電力削減を計画**しており、任意波形発生器における実証実験において目標達成を確認する予定である。これにより、現在逼迫しているMHz帯の電波利用をGHz帯にシフトさせることが可能となる。



【契約期間】 令和3年度～令和4年度（ステージゲート評価予定）【契約総額】 約1.0億円

【受託者】 国立大学法人大阪大学（代表研究者）、三菱電機株式会社